



小平六中だより

令和4年度 第9号

発行 令和5年1月16日

「有終の美を飾るために・・・」

校長 平沢 晃

新年あけましておめでとうございます。令和5年、2023年が始まりました。

今年卯年、干支はウサギです。ウサギは穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」、またその跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の成長」という意味もあり、卯年は、跳ねるといのように、新しいことに挑戦するのに最適な年といわれています。今年コロナも終息を迎え、思う存分に活動ができる年になることを祈念いたします。

さて、始業式にて「この3学期は、有終の美を飾れるように、感謝の気持ちを持ち、それを表すことができるようになります。」「人は、多くの人との関わり合いの中で生活をしており、時に助け、助けられて今の自分がいます。それを忘れずにいてほしい。」「昔から、感謝の気持ちを出せる人は運がよく、それを表せる人の笑顔には、人に信頼される、安心させる魅力があり、そういう人には、周りの人たちが、協力し援助をしてくれる。そして、感謝の気持ちのある人は、最終的には多くの人々の協力を得て、やるべきことをしっかりとやり終えることができるようになる。」という話をさせていただきました。

実は、終業式の話を考えていたとき、社会を明るくする運動作文集「ひまわり」第43号をいただきました。作文集には、2年生7人の生徒の作文が掲載されています。その中の一つに「ありがとうございますすみません」という作品があります。トイレで通路を譲った時に言われた「すみません」という言葉、自転車に乗っていた人が物を落とし、それを拾ってあげたときに言われた「ありがとう」の言葉。その違いを考え、何かをしてもらったとき、親切にしてもらったときには「ありがとう」と言えることが大切である。そして、「ありがとう」は感謝の意味を伝える言葉であり、その言葉をもらうとその行為をした自分も気分がよくなると書かれていました。私は、終業式の話考えた後にこの作文を読み、「本当になるほど、そうだなあ」と思い、ぜひこの気持ちをみんなにも知ってもらいたい。そして、自分の有終の美を飾ってほしいと思い、始業式に話をしたいです。

さらにもう一つ興味深い話として、「ありがとう」の感謝の気持ちを口に出すことで、ある変化が体におこるといことが科学的に証明されています。その体への変化は、幸せホルモンとも呼ばれている「オキシトシン」の分泌が体内で活発になります。この「オキシトシン」は、副交感神経の働きを活発にする、自律神経のバランスを整える、ストレスの緩和、免疫力アップなど様々な効果をもたらすというものです。つまり、日々感謝を感じながら生活すると、人生により幸福感を得られるということが研究により分かったということです。それは、日常生活を送る上で、感謝の気持ちを大切にすることでストレスも解消され、人間関係も良くなり、仕事や勉強などにも良い影響があるということです。不思議ですね。「感謝の気持ちが福を呼ぶ」という言葉もあるそうです。

人は、多くの人との関わり合いの中で生活をしており、時に助け、助けられて今の自分がいます。今年度、最後の学期である三学期にそれを忘れずに過ごしてほしいと思っています。研究の結果も興味深いですが、最後に有終の美を飾るためにも、気持ちの面で人に感謝する気持ちをしっかりともち続けたいものです。そして、作文に書いてくれたように何かをしてもらった時には、「すみません」ではなく、「ありがとう」という言葉を伝え、お互いにwin-winの気持ちになればとても素敵ですね。

作文集に掲載された他の6人の作文も自分自身の思いが書かれており、どれも共感できるもので、とても良かったです。題のみですが、紹介します。「礼儀の正しさ」「平和」「無理をしない家族のためにできること」「いじめをなくすために」「本当の友情とは」「言葉の大きさ」です。中学生たちの思いや考えに、大人では感じ得ないことや改めて考えさせられるものがありました。六中を代表しての素敵な作文を本当にありがとう。

今学期は1・2年生のスキー移動教室、そして3年生は入試が始まります。

令和4年度最後の学期、よろしくお祈りいたします。



学校評価の結果から

教務主任 林 祐介

12月に保護者の皆様をお願いした、令和4年度後期教育活動に関する調査の結果がまとまりました。連絡メールのアンケート機能で実施し、447名の方からの回答（回答率64.8%）をいただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年度は、学校にご来校いただく機会が少なかったため、回答しづらい項目もあったかと存じます。来年度は、学校公開週間を設ける予定です。（コロナウイルス感染症等の状況により変更する可能性があります）。その他にも、頂戴したご意見を今後の教育活動に活かしてまいります。よろしくお願いいたします。

アンケート質問	よくできている	だいたいできている	あまりできていない	できていない	分からない
Q1.学校は、日々の授業の充実に努めている。	20.8%	63.8%	4.9%	0.7%	9.8%
Q2.学校は、年間を通して授業時数の確保に努めている。	28.6%	62.2%	2.0%	0.2%	6.9%
Q3.学校は、HPや学校メール・お便り等で情報発信を積極的に行っている。☑	35.1%	54.8%	5.1%	0.7%	4.3%
Q4.家庭では、家庭学習が習慣化してきている。☑	11.9%	37.8%	31.1%	18.3%	0.9%
Q5.家庭では、規則正しい生活が身に付いてきている。	11.4%	52.6%	22.6%	12.8%	0.7%
Q6.家庭では、読書に親しむ時間をもっている。	6.0%	14.8%	33.6%	44.7%	0.9%
Q7.学校は、生徒の自己実現達成のため、3年間を通して進路指導を行っている。☑	13.0%	54.4%	9.8%	1.8%	21.0%
Q8.学校は、生徒理解に努め、生徒や保護者から相談しやすい雰囲気づくりを大切にしている。☑	18.3%	58.2%	9.6%	3.8%	10.1%
Q9.学校は、生徒の授業中の姿勢や立ち居振る舞いの授業規律をしっかり指導している。☑	12.1%	51.0%	6.3%	2.2%	28.4%
Q10.学校は、校舎・校庭等の施設の安全面について十分配慮をしている。☑	13.4%	56.4%	4.0%	0.4%	25.7%
Q11.学校は、避難訓練や防災教育を通して、緊急時の意識を高め、対応に備えようとしている。☑	19.7%	61.3%	1.8%	1.1%	16.1%
Q12.学校は、校舎は古いが日々の環境整備に努め、清潔感がある。☑	15.2%	61.7%	9.6%	2.5%	11.0%
Q13.学校は、コミュニティ・スクールとして、生徒を育てていくために学校と保護者・地域と連携している。	16.8%	55.3%	3.8%	2.0%	22.1%

※前期と比較して Q1、Q2、Q3、Q5、Q7、Q11、Q13 の項目において、「できている」（「よくできている」「だいたいできている」合わせた割合）の回答の割合が高くなりました。

Ver. 53.0 へアップデート

生活指導主任 藤井 龍之介

2022年はコロナ禍の中、様々な行事に久しぶりに取り組むことができました。特に、10月に行われた合唱コンクールでは、全校生徒が初めての合唱コンという状況で、3年生は自分たちも分からないことや不安がある中、最上級生としての自覚を姿勢で示してくれました。その背中を見ていた1・2年生も次年度につながるような一生懸命な姿で、それぞれの学年が自分たちの持ち味を発揮した素晴らしい行事に仕上げることができました。また、それぞれの学年行事もこの2・3年とは違う、制限が限りなく少ない中で行うことができました。少しずつですが、学校にコロナ禍以前の様子が戻ってきています。もちろん、まだまだ感染症には十分注意をしていかななくてはなりません、この後に控えている1、2年生のスキー教室、そして3年生の卒業式に向けて、3学期を今よりも良い形で過ごせるようにしていきましょう。

2学期までを振り返ると、行事については本当に成長や進化が見られた半面、休み時間や普段の学校生活などまだまだ改善が必要な部分も多く残っています。特に、いたずらやからかいなどの友人や仲間を大切にできない、愛が足りないトラブルなどがあったことが残念です。51周年を終えようとしている小平六中をスマートフォンに例えると、今現在はVer. 52.8くらいでしょうか。来年度、Ver. 53.0へ大型アップデートができるよう、残された3学期で改善点を見付け出し、新たな小平六中となっていけるように3学期を大事に過ごしていきましょう。

【生徒の活躍】

〈男子ソフトテニス部〉小平市冬季中学生ソフトテニス 学年別大会

優勝 2年生生徒ペア 準優勝 2年生生徒ペア 第3位 2年生生徒ペア

〈サッカー部〉小平市ウインターカップ 準優勝

ベストイレブン選出 田中 瑛太

今月の主な予定

17日（火）～19日（木）2年スキー移動教室
22日（日）～24日（火）1年スキー移動教室
25日（水）1年振替休業日
新入生保護者説明会（動画配信）

来月の主な予定

1日（水）センター給食開始
（時程変更：給食時間12:40～13:10）
8日（水）中学校体験入学（小6年）
21日（火）22日（水）24日（金）学年末考査